

# 平成21年度事業報告書

自 平成21年 4月 1日

至 平成22年 3月 31日

## 【平成21年度の重点事項】

当協会は、農林水産業及びこれらの関連産業の健全な発展を図るため、JAS制度の普及啓発等の事業を、農林水産省の指導の下に会員及び消費者団体等の理解と協力を得て実施した。

また、このような事業活動の基本方針を具体化するに当たり、次の事項を重点的に実施した。

- ①5年ごとに見直されるJAS規格改正はもとより、平成21年9月発足した消費者庁へ業務移管された品質表示基準制度や、それに伴うJAS法改正等、JAS制度を巡る様々な動向について、農林水産省の指導の下、関係団体とも連携を図りながら、各種の会議や講習会の開催のほか、書籍等の発行により、制度運用の適正化に努め、積極的に普及啓発を行った。
- ②関係団体の支援を得て、農林水産祭への出展及び農林水産省「消費者の部屋」の展示への協力を行った。

## 【諸事業の実施】

上記重点事項を踏まえて、次の諸事業の円滑で効果的な実施に努めた。

## 1. JAS普及事業

JAS制度の普及啓発のため、次表のとおり展示等を実施した。

期 日	出展会場等	内 容
21年11月6、7日	東京国際展示場 西4ホール	(財)日本農林漁業振興会主催の「農林水産祭」の会場において、関係機関の協力のもと、JASマーク品・ポスター・パネルの展示及びパンフレットの配布により、JAS制度の普及啓発を行った
21年11月24～27日	農林水産省 消費者の部屋	JAS普及推進月間に開催された農林水産省消費者の部屋における「JASの週」において、関係機関の協力のもと、JASマーク品・パンフレット・パネルの展示により、JAS制度の普及啓発を行った

## 2. JAS講習事業

### (1) 食品製造業品質管理担当者等一般講習会の開催

一般加工食品のJAS認定申請製造業者及び認定製造業者の品質管理担当者等を対象とする一般講習会を、次表のとおり実施した。

期 日	場 所	受講者数	内 容
21年 4月 21日、22日	東京	131人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ JAS制度について</li> <li>・ 食品の表示について</li> <li>・ 特別講演 「クレーム対応と社員教育」</li> <li>・ 品質管理概論</li> <li>・ 食品の安全性</li> <li>・ 食品工場における衛生管理</li> <li>・ 品質管理活動の実際</li> </ul>
21年 9月 15日、16日	〃	178人	
21年 11月 17日、18日	大阪	145人	
22年 2月 2日、3日	東京	125人	

### (2) 有機農産物及び有機加工食品のJAS講習会の開催

有機農産物の格付（又は格付の表示）を行う生産行程管理者、小分け業者及び輸入業者、並びに有機加工食品の格付（又は格付の表示）を行う生産行程管理者、小分け業者及び輸入業者を対象とするJAS講習会を、次のとおり実施した。

#### ア 有機農産物

期 日	場 所	受講者数	内 容
22年 2月 26日	東京都	20人	総論 ① JAS法及び有機食品の検査認証制度 ② 有機農産物の日本農林規格及び認定の技術的基準  各論 ① 生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法

			②小分けの方法及び格付の表示の方法
--	--	--	-------------------

#### イ 有機加工食品

期 日	場 所	受講者数	内 容
21年12月2日	東京都	49人	総論 ① J A S 法及び有機食品の検査認証制度 ②有機加工食品の日本農林規格及び認定の技術的基準  各論（「①②」と「③」のコース分け実施） ①生産行程の管理又は把握の方法及び格付の方法 ②小分けの方法及び格付の表示の方法 ③輸入品の受入れ・保管の方法及び格付の表示の方法

### 3. J A S 協力の店普及推進事業

J A S 協力の店に対して、機関誌「J A S 情報」を配布し、J A S マーク品の流通促進に努めた。

### 4. J A S 広報事業

#### (1) 機関誌の発行

機関誌「J A S 情報」については、内容の充実に努めながら毎月1回発行し、会員及び消費者団体等関係先に配布した。

#### (2) J A S 規格集等の発行

J A S 規格及び品質表示基準等の制定及び改正の都度、その内容を整理して発行した。

また、J A S 制度の解説書である「J A S 制度の手引（平成21年度10月版）」を発行した。

#### (3) メールマガジン配信の実施

会員を対象として、J A S 制度や講習会開催等に関する有益な最新情報について、メールマガジン形式により、62号から79号にわたって配信した。

### 5. 諸会議の開催

#### (1) 通常総会

当協会定款に基づき、次表のとおり通常総会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
21年5月8日	東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成20年度事業報告及び収支決算について</li> <li>・平成21年度事業計画及び収支予算について</li> <li>・借入金の最高限度額について</li> <li>・会費の徴収方法について</li> <li>・役員を選任について</li> </ul>

#### (2) 理事会

当協会定款に基づき、次表のとおり理事会を開催し、議案について可決承認された。

期 日	場 所	議 案
21年 5月 8日	東京都	平成 21 年度通常総会提出議案について
21年 11月 2日	〃	副会長の選任について
22年 3月 30日	〃	平成 22 年度暫定予算について

(3) 連絡協議会

当協会の団体会員の出席を得て、次表のとおり連絡協議会を開催した。

期 日	場 所	主要議題
21年 4月 30日	東京都	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 20 年度事業報告及び収支決算について</li> <li>・平成 21 年度事業計画及び収支予算について</li> <li>・借入金の最高限度額について</li> <li>・会費の徴収方法について</li> <li>・役員を選任について</li> </ul>
21年 8月 6日	〃	消費者庁の問題について
21年 11月 27日	〃	最近の J A S 規格のあり方について
22年 2月 22日	〃	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな J A S 規格の方向性について</li> <li>・公益・一般法人への移行認定・認可の最近の情勢について</li> </ul>

(4) 連絡協議会ワーキング・グループ

当協会の団体会員のうち、8名の方をメンバーとし、3回にわたり、当協会事務所内において、J A S 規格に関連する問題等について協議した。

6. 特別セミナーの開催

情報提供の一環として、当協会会員を中心に、特別セミナーを次表のとおり開催した。

期 日	場 所	参加者数	内 容
21年 10月 20日	東京都	132人	・「食の安全・安心に関するコープさっぽろの取組み」等

7. その他

I S O 講習会等を実施した。